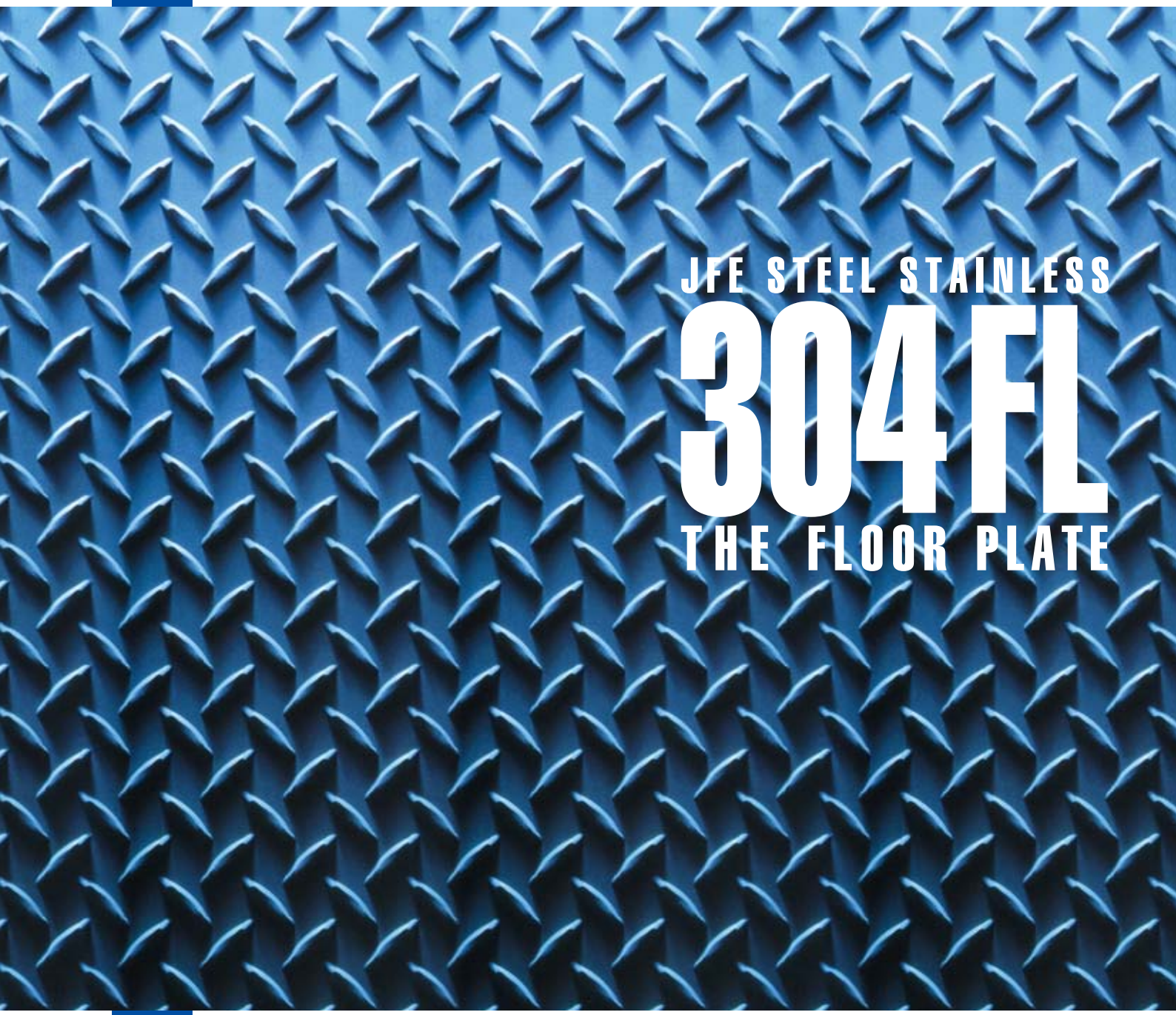
JFE

# JFE304FL

ステンレス縞鋼板




JFE スチール 株式会社

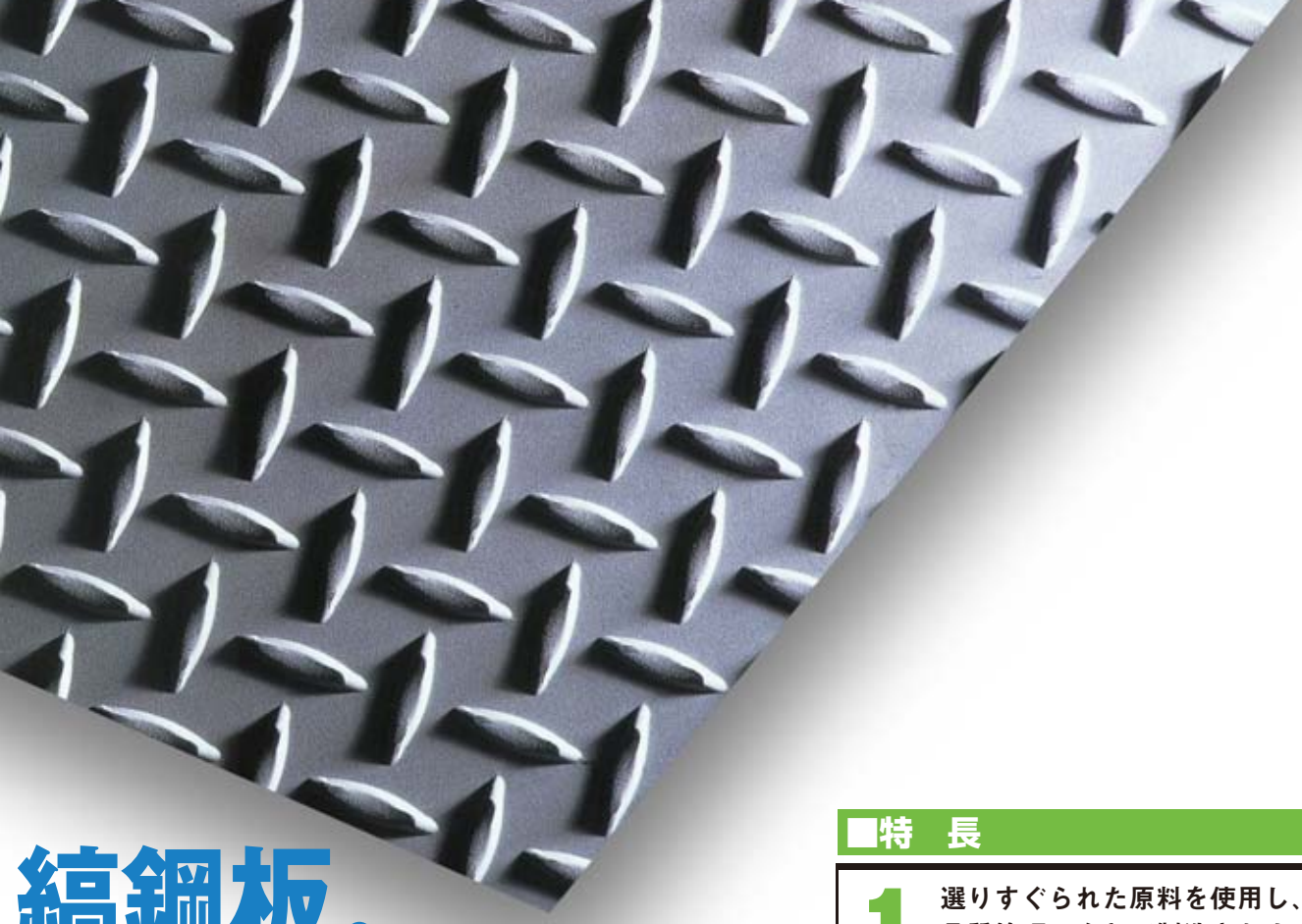
JFE STEEL STAINLESS

ステンレス縞鋼板

# 縞鋼板の未来を創ります。
# JFE スチールのステンレス

ステンレス縞鋼板製造のパイオニアとして歩んできた50年におよぶキャリア、そしてその間に積み上げてきた豊富なノウハウ。
そこから生み出されるステンレス縞鋼板は、当社の長年にわたる普通鋼の縞鋼板製造の経験をもとに各界のさまざまな要求にこたえて開発したものです。
明日をリードするJFEスチールのステンレス縞鋼板は、確かな技術に裏付けられた性能で皆さまのご要望にお応えします。

※表紙のフロアープレートはイメージ写真のため、実物の色彩とはことなります。



# 縞鋼板。

THE FLOOR PLATE

# 304FL

## ■主な用途

- ●食品工場の床、道路、階段。
- ●化学プラントの階段、架台。
- ●特殊車の床、ステップ。
- ●建物の内外装、非常階段。
- ●その他土木工事などの仮設敷板。

## ■特　長

**1** 選りすぐられた原料を使用し、厳しい品質管理のもとで製造されますので、安定した化学成分機械的性質を持っています。

**2** 耐久性にすぐれていますので、化学プラント、食品製造プラントなどといった厳しい腐食環境下での用途に適しています。

**3** 美しい表面仕上がりは建築物など装飾的要素が求められる用途にも適しています。

**4** 塗料が不要ですので、メンテナンスに余計な手間がかかりません。

**5** 耐摩耗性にすぐれていますので、シャープな縞目部分の摩耗が少なく滑り止めの効果が大きくしかも耐久性に富んでいます。

**6** 単位面積当たりの強度が高いので普通鋼使用の縞鋼板に比べ重量が軽減できます。

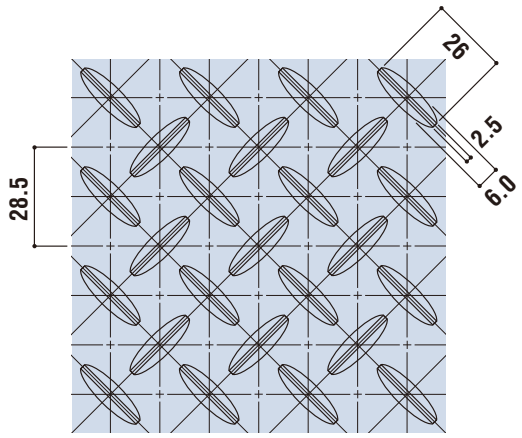
# 304FL THE FLOOR PLATE

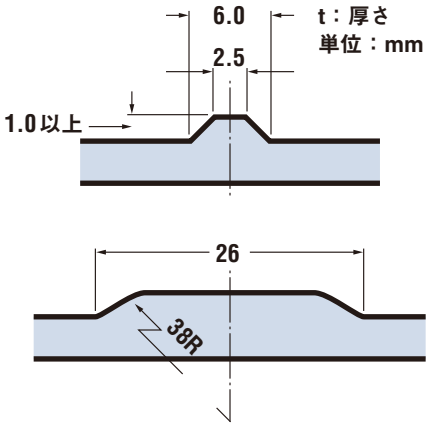
## 標準寸法と質量

| 厚さ (mm) | 単位重量 (kg/m²) | 幅 × 長さ (mm) | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1000 × 2000 | 1000 × 4000 | 1219 × 2438 | 1219 × 3048 | 1219 × 4000 | 1524 × 3048 | 1524 × 4000 |
| 2.5 | 21.76 | 43.5 | 87 | 64.7 | 80.8 | 106 | — | — |
| 3.0 | 25.72 | 51.4 | 103 | 76.4 | 95.6 | 125 | — | — |
| 3.5 | 29.69 | 59.4 | 119 | 88.2 | 110 | 145 | 138 | 181 |
| 4.0 | 33.65 | 67.3 | 135 | 100 | 125 | 164 | 156 | 205 |
| 4.5 | 37.62 | 75.2 | 150 | 112 | 140 | 183 | 175 | 229 |
| 6.0 | 49.51 | 99 | 198 | 147 | 184 | 241 | 230 | 302 |

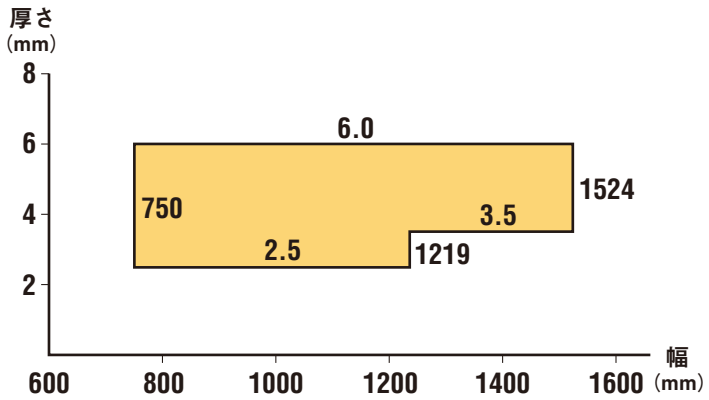
W ＝ 7.93t ＋ 1.93
[W:単位質量 (kg/m²)、t ＝ 板厚 (mm)、1.93：山の質量]　(注) 数値の丸め方、JIS Z8401 (数値の丸め方) による。
■上記以外の寸法についてもご相談に応じます。

## 形　状




## 製造寸法




■標準以外の寸法についてもご相談に応じます。
長さは、6100mm以下を標準としますが、これ以上の長さの場合もご相談に応じます。

## 製造規格

| 規格記号 | 仕上げ記号 |
|---|---|
| JFE 304 | FL |

■表面仕上げは、焼鈍・酸洗仕上げです。
エッジはカットエッジで納入いたします。

## 化学成分

（単位：%）

| 規格 | C | Si | Mn | P | S | Ni | Cr |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| JFE 304 | ≦0.08 | ≦1.00 | ≦2.00 | ≦0.045 | ≦0.030 | 8.00～10.50 | 18.00～20.00 |

## 機械的性質

| 引張強さ（N/mm²） | 伸び（%） | 硬さ（HRB） |
|---|---|---|
| ≧520 | ≧40 | ≦90 |

## 物理的性質

| 比重 | 比熱 | 熱伝導率 | 熱膨張係数 | ヤング率×10³ |
|---|---|---|---|---|
| g/cm³ | 0~100℃<br>Cal/g•℃ | 100℃<br>10⁻²Cal/cm•sec•℃ | 0~100℃<br>10⁻⁶/℃ | N/mm² |
| 7.93 | 0.12 | 3.88 | 17.3 | 193 |

# ■寸法許容差

## 厚さ許容差

（単位：mm）

| 製品幅<br>製品厚 | 1000未満 | | 1000以上 1250未満 | | 1250以上 1600未満 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ＋値 | －値 | ＋値 | －値 | ＋値 | －値 |
| 2.50以上 3.15未満 | 0.30 | 0.30 | 0.35 | 0.35 | 0.40 | 0.40 |
| 3.15以上 4.00未満 | 0.35 | 0.35 | 0.40 | 0.40 | 0.45 | 0.45 |
| 4.00以上 5.00未満 | 0.40 | 0.40 | 0.45 | 0.45 | 0.50 | 0.50 |
| 5.00以上 6.00未満 | 0.50 | 0.50 | 0.55 | 0.55 | 0.60 | 0.60 |
| 6.00以上 8.00未満 | 0.60 | 0.60 | 0.65 | 0.65 | 0.65 | 0.65 |

## 幅の許容差

（単位：mm）

| 長さ | 許容差 |
|---|---|
| 3500以下 | ＋5<br>－0 |
| 3500超え 6000以下 | ＋15<br>－0 |
| 6000超え | ＋20<br>－0 |

## 長さの許容差

（単位：mm）

| 長さ | 許容差 |
|---|---|
| 3500以下 | ＋10<br>－0 |
| 3500超え 6000以下 | ＋15<br>－0 |
| 6000超え | ＋30<br>－0 |

# ■安全データシート（SDS） JIS Z 7253:2012に準拠し作成

## 1.製品及び会社情報

製品の名称：ステンレス鋼板及び鋼帯

会社情報：会社名　JFEスチール株式会社
住所　東京都千代田区内幸町2−2−3
日比谷国際ビル

問合わせ先：担当部門　東日本製鉄所　商品技術部ステンレス室
電話番号：043-262-2291/2587
FAX番号：043-262-2980

発行整理番号：ESｰJA-001ｰ08　作成日･改定日 2013/1/15

## 2.危険有害性の要約

鋼材としての危険有害性情報はありません。
なお、以下に示す危険有害性の情報は、鋼材に含まれる元素成分についてのもので、鋼材を溶断、溶接、研磨等の加工を行いヒューム、粉塵等（粉末状態）が生じる場合に注意が必要となります。したがいまして、鋼材としての危険有害性ではないことにご注意願います。

■GHS分類

＜健康に対する有害性＞

| 有害性項目 | 危険有害性区分 | 危険有害性情報 |
|---|---|---|
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分 2B | 眼刺激（H320） |
| 呼吸器感作性 | 区分 1 | 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ（H334） |
| 皮膚感作性 | 区分 1 | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ（H317） |
| 生殖細胞変異原性 | 区分 2 | 遺伝性疾患のおそれの疑い（H341） |
| 生殖毒性 | 区分 1B | 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ（H360） |
| | 区分 2 | 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い（H361） |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 区分 1 | 呼吸器、腎臓の障害（H370） |
| | 区分 2 | （全身毒性）臓器の障害のおそれ（H371） |
| | 区分 3 | （気道刺激性）気道への刺激のおそれ（H335） |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 区分 1 | 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害（H372） |

＜環境に対する有害性＞

| 有害性項目 | 危険有害性区分 | 危険有害性情報 |
|---|---|---|
| 水生環境有害性（慢性） | 区分 4 | 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ（H413） |

■GHSラベル要素

＜絵表示又はシンボル＞

＜注意喚起語＞

危険、警告

＜注意書き＞

【安全対策】

- ●全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと（P202）
- ●粉じん／ミストの吸入を避けること（P261）
- ●取り扱い後は手をよく洗うこと（P264）
- ●屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること（P271）
- ●保護手袋を着用すること（P280）
- ●換気が不十分な場合は呼吸用保護具を着用すること（P284）

【応急措置】

- ●皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと（P302+P352）
- ●吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること（P304+P340）
- ●眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること（P305+P351+P338）
- ●気分が悪い時は医師に連絡すること（P312）
- ●皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診断／手当てを受けること（P333+P313）
- ●眼の刺激が続く場合:医師の診断／手当てを受けること（P337+P313）
- ●呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること（P342+P311）
- ●汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること（P362+P364）

【廃棄】

- ●内容物／容器を国際,国,都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること（P501）

## 3.組成及び成分情報

■化学物質/混合物の区別

混合物（鉄を主成分とした固体の合金鋼で安定している）（なお、化管法では「成形品」に当たる）

■主な成分

| 成　分 | 含有量 [wt%] | CAS番号 | 化管法 *1 政令番号 | 安衛法 *2 政令番号 |
|---|---|---|---|---|
| マンガン　[Mn] | 1.00以下 | 7439-96-5 | 1種 412 | 550 |
| モリブデン　[Mo] | 10.00未満 | 7439-98-7 | 1種 453 | 603 |
| クロム　[Cr] | 10.00-40.00 | 7440-47-3 | 1種　87 | 142 |
| 銅　[Cu] | 10.00未満 | 7440-50-8 | - | 379 |

注1）成分の含有量は、上表の範囲において規格の種類で異なる。
注2）上記の主要成分の他に、炭素[C]、リン[P]、硫黄[S]、窒素[N]等の微量元素を含む。

*1　特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
*2　労働安全衛生法

## 4.応急措置

鋼材の加工等により発生した粉塵/ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、また粉塵/ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

◇吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
◇皮膚に付着した場合：作業終了後は多量の水と石鹸で洗う。
◇眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
◇飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。
◇その他　：鋼材切断端面および切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口の清潔を保つ。アーク等により火傷した場合は、患部を冷やす。

## 5.火災時の措置

鋼材は不燃性（固体）の状態であり、周辺の火災時にも消火器･水による消火を行っても問題ない。ただし、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

◇消火剤　：火災の状況に適した消火剤を使用する。
◇使ってはならない消火剤：情報なし

## 6.漏出時の措置

鋼材は固体であり、一般的な環境下では漏出することはないが、鋼材の加工等により発生した粉塵／ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

◇人体に対する注意事項　：適切な保護具を使用して、粉塵／ヒュームの吸入や眼への侵入を防ぐこと。
◇保護具及び緊急時措置　：箇条8（ばく露防止及び保護措置）の保護具を参照のこと。
◇環境に対する注意事項：切断･研磨等の加工で発生した粉塵等は速やかに回収する。
◇封じ込め及び浄化の方法及び機材　：鋼材の加工等により発生した粉塵類は、適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。

## 7.取扱い及び保管上の注意

■取り扱い

＜技術的対策＞

鋼材を溶接、溶断又は研磨等の加工を行い、粉塵/ヒューム等が発生する場合は適切な保護具を着用すること。
また、粉塵／ヒューム等が発生する場合は、必要な局所排気／全体換気を行うこと。

＜安全取り扱い注意事項＞

重量物の為、転倒、荷崩れ、落下に注意する。
鋼材の切断端面および切削屑等は、「バリ」「カエリ」などにより皮膚を傷つける場合がある。
溶接、溶断等にともなうアークは火傷を起こす場合がある。
結束及び梱包フープ（バンド）の切断時に、フープの跳ね返りやフープ先端に注意を要する。特にコイル製品の場合には、コイル先端が跳ね上がる可能性があるため安全には充分な留意を要する。

■保管

＜安全な保管条件 *1＞

水漏れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。
高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー、梱包等を行うこと。

*1　鋼材品質の劣化を防止するための措置で、未実施の場合でも危険有害性物質の発生は無い

## 8.ばく露防止及び保護措置

鋼材は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では暴露防止及び保護措置に関する有用な情報はない。
ただし、溶接・溶断又は研磨,切削等の加工の際はヒュームや粉塵類が発生するので、下記に示す設備対策及び保護措置を実施すること。

■許容濃度

| 成　分 | CAS番号 | 日本産業衛生学会<br>許容濃度 [mg/m$^3$] | AGCIH *1<br>TLVs-TWA [mg/m$^3$] |
|---|---|---|---|
| マンガン　[Mn] | 7439-96-5 | 0.2 | 0.2 |
| モリブデン [Mo] | 7439-98-7 | – | 10(I) / 3(R)*2 |
| クロム　[Cr] | 7440-47-3 | 0.5 | 0.5 |
| 銅　[Cu] | 7440-50-8 | – | 1 (Dusts and mists, as Cu) / 0.2(Fume) |

注1）NITE HP/化学物質総合情報提供システム（CHRIP）検索結果
注2）表中の"－"は,区分外又は分類できないことを意味する。
*1　American Conference of Governmental Industrial Hygienists：米国産業衛生専門家会議
*2　(I);Inhalable fraction　(R);Respirable fraction

◇ 設備対策 ： 粉塵／ヒューム等が発生する場合、適切な換気対策を実施 し作業環境を確保すること。
◇ 保護具 ： 粉塵／ヒューム等が発生する場合、適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用すること。

## 9.物理的及び化学的性質

◇物理的状態、形状、色など：銀白色の固体
◇臭い：金属臭
◇融点：1,370℃以上
◇比重（相対密度）：7～9g/cm$^3$
◇溶解度：水に不溶

## 10.安定性及び反応性

◇安定性：一般の環境下では安定している。
◇避けるべき条件：高湿との接触を避ける。*1
◇混触危険物質：無し
◇危険有害性のある分解生成物：溶接・溶断などの加工時に発生するヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。

*1 鋼材品質の劣化を防止するための措置で、未実施の場合でも危険有害性物質の発生は無い

## 11.有害性情報

| 有害性項目 | Mn | Mo | Cr | Cu |
|---|---|---|---|---|
| 急性毒性 | – | – | – | – |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | – | – | – | – |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分2B | – | 区分2B | – |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | – | – | 区分1 | – |
| 生殖細胞変異原性 | – | – | 区分2 | – |
| 発がん性 | – | – | – | – |
| 生殖毒性 | 区分1B | – | – | – |
| 特定標的臓器毒性,単回ばく露 | 区分1 | 区分3 | 区分2,3 | 区分3 |
| 特定標的臓器毒性,反復ばく露 | 区分1 | – | – | 区分1 |
| 吸引性呼吸器有害性 | – | – | – | – |

注1）NITE HP/化学物質関連情報/GHS関連情報検索結果
注2）表中の"－"は区分外又は分類できないことを意味する。
注3）区分の情報は箇条2（危険有害性の要約）を参照のこと。

## 12.環境影響情報

| 有害性項目 | Mn | Mo | Cr | Cu |
|---|---|---|---|---|
| 水生環境有害性（急性） | – | – | – | |
| 水生環境有害性（慢性） | 区分4 | – | – | 区分4 |

注1）NITE HP/化学物質関連情報/GHS関連情報検索結果
注2）表中の"－"は区分外又は分類できないことを意味する。
注3）区分の情報は箇条2（危険有害性の要約）を参照のこと。

## 13.廃棄上の注意

鋼材の切端などはスクラップとしてリサイクル可能であり、廃棄物には該当しない。
加工工程で発生した粉塵等を産業廃棄物として処分する場合、または産業廃棄物を収容した容器、及び鋼材納入時に付随してきた包装材等を処分しようとする場合、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、適切な方法で処分すること。

## 14.輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

## 15.適用法令

◇労働安全衛生法
◇特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

## 16.その他の情報

◇参考資料等
- 危険物データブック（東京消防庁警防研究会）
- GHS対応−化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度（平成24年10月　経済産業省、厚生労働省）
- JIS Z7253:GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法−ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- 独立行政法人　製品評価技術基盤機構（NITE）ホームページ
- 職場の安全サイト（厚生労働省）
- 日本産業衛生学会勧告値、OSHA　PEL、ACGIH TLV等
- 労働安全衛生法
- PRTR法（特定化学物質の環境への排出量把握等及び管理の改善の促進に関する法律）

本化学物質等安全性データシートは、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しております。
弊社製品を取扱う事業者に化学的に安全な取扱いを確保するための参考情報として提供されるもので、安全性の保証書ではありません。
取扱う事業者は用途・用法に適した安全対策を講ずることが必要であることをご理解のうえご活用願います。　以上


●ご注文・お問い合わせは、下記または最寄りのJFEスチールまでお寄せください。

東　京　東京都千代田区内幸町2丁目2番3号（日比谷国際ビル）　〒100-0011
ステンレス・特殊鋼営業部　TEL.03（3597）4028　FAX.03（3597）4035
千葉市中央区川崎町1番地　〒260-0835
東日本製鉄所　商品技術部　ステンレス室　TEL.043（262）2587　FAX.043（262）2980

大　阪　大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ）　〒530-8353
大阪鋼板営業部　ステンレス・特殊鋼室　TEL.06（6342）0729　FAX.06（6342）0731
東日本製鉄所　商品技術部　ステンレス室（大阪駐在）　TEL.06（6342）0740　FAX.06（6342）0734

Cat.No.G1J-007-04

JFE

## JFE スチール 株式会社

https://www.jfe-steel.co.jp


| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 本　　社 | 〒100-0011 | 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号（日比谷国際ビル） | TEL | 03(3597)3111 | FAX 03(3597)4860 |
| 大 阪 支 社 | 〒530-8353 | 大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ10F） | TEL | 06(6342)0707 | FAX 06(6342)0706 |
| 名 古 屋 支 社 | 〒450-6427 | 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号（大名古屋ビルヂング27F） | TEL | 052(561)8612 | FAX 052(561)3374 |
| 北 海 道 支 社 | 〒060-0002 | 札幌市中央区北二条西4丁目1番地（札幌三井JPビルディング14F） | TEL | 011(251)2551 | FAX 011(251)7130 |
| 東 北 支 社 | 〒980-0811 | 仙台市青葉区一番町4丁目1番25号（JRE東二番丁スクエア3Ｆ） | TEL | 022(221)1691 | FAX 022(221)1695 |
| 新 潟 支 社 | 〒950-0087 | 新潟市中央区東大通1丁目2番23号（北陸ビル5F） | TEL | 025(241)9111 | FAX 025(241)7443 |
| 北 陸 支 社 | 〒930-0004 | 富山市桜橋通り3番1号（富山電気ビル3F） | TEL | 076(441)2056 | FAX 076(441)2058 |
| 中 国 支 社 | 〒730-0036 | 広島市中区袋町4番21号（広島富国生命ビル7F） | TEL | 082(245)9700 | FAX 082(245)9611 |
| 四 国 支 社 | 〒760-0019 | 高松市サンポート2番1号（高松シンボルタワー23F） | TEL | 087(822)5100 | FAX 087(822)5105 |
| 九 州 支 社 | 〒812-0025 | 福岡市博多区店屋町1番35号（博多三井ビルディング2号館7F） | TEL | 092(263)1651 | FAX 092(263)1656 |
| 千 葉 営 業 所 | 〒260-0028 | 千葉市中央区新町3番地13（日本生命千葉駅前ビル5F） | TEL | 043(238)8001 | FAX 043(238)8008 |
| 神奈川営業所 | 〒231-0013 | 横浜市中区住吉町2丁目22番（松栄関内ビル6F） | TEL | 045(212)9860 | FAX 045(212)9873 |
| 静 岡 営 業 所 | 〒422-8061 | 静岡市駿河区森下町1番35号（静岡MYタワー13F） | TEL | 054(288)9910 | FAX 054(288)9877 |
| 岡 山 営 業 所 | 〒700-0821 | 岡山市北区中山下1丁目8番45号（NTTクレド岡山ビル18F） | TEL | 086(224)1281 | FAX 086(224)1285 |
| 沖 縄 営 業 所 | 〒900-0015 | 那覇市久茂地3丁目21番1号（國場ビル11F） | TEL | 098(868)9295 | FAX 098(868)5458 |


**お客様へのご注意とお願い**

- 本カタログに記載された特性値等の技術情報は、規格値を除き何ら保証を意味するものではありません。
- 本カタログ記載の製品は、使用目的・使用条件等によっては記載した内容と異なる性能・性質を示すことがあります。
- 本カタログ記載の技術情報を誤って使用したこと等により発生した損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本カタログ記載の単位においてN/mm$^2$はMPaと等価です。

Copyright © JFE Steel Corporation. All Rights Reserved.
無断複製・転載・WEBサイトへの掲載などはおやめください。

## JFE Steel Corporation

https://www.jfe-steel.co.jp/en/


**HEAD OFFICE**
Hibiya Kokusai Building, 2-3 Uchisaiwaicho 2-chome, Chiyodaku, Tokyo 100-0011, Japan　Phone: (81)3-3597-3111　Fax: (81)3-3597-4860

### ■ ASIA PACIFIC

**SEOUL**
JFE Steel Korea Corporation
16th Floor, 41, Cheonggyecheon-ro, Jongno-gu, Seoul, 03188, Korea
(Youngpung Building, Seorin-dong)
Phone: (82)2-399-6337　Fax: (82)2-399-6347

**BEIJING**
JFE Steel Corporation Beijing
2018 Beijing Fortune Building, No.5, Dongsanhuan North Road, Chaoyang District, Beijing, 100004, P.R.China
Phone: (86)10-6590-9051　Fax: (86)10-6590-9056

**SHANGHAI**
JFE Consulting (Shanghai) Co., Ltd.
Room 801, Building A, Far East International Plaza, 319 Xianxia Road, Shanghai 200051, P.R.China
Phone: (86)21-6235-1345　Fax: (86)21-6235-1346

**GUANGZHOU**
JFE Consulting (Guangzhou) Co., Ltd.
Room 3901 Citic Plaza, 233 Tian He North Road, Guangzhou, 510613, P.R.China
Phone: (86)20-3891-2467　Fax: (86)20-3891-2469

**MANILA**
JFE Steel Corporation, Manila Office
23rd Floor 6788 Ayala Avenue, Oledan Square, Makati City, Metro Manila, Philippines
Phone: (63)2-8886-7432　Fax: (63)2-8886-7315

**HO CHI MINH CITY**
JFE Steel Vietnam Co., Ltd.
Unit 1704, 17th Floor, MPlaza, 39 Le Duan Street, Dist 1, HCMC, Vietnam
Phone: (84)28-3825-8576　Fax: (84)28-3825-8562

**HANOI**
JFE Steel Vietnam Co., Ltd., Hanoi Branch
Unit 1501, 15th Floor, Cornerstone Building, 16 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem Dist., Hanoi, Vietnam
Phone: (84)24-3855-2266　Fax: (84)24-3533-1166

**BANGKOK**
JFE Steel (Thailand) Ltd.
22nd Floor, Abdulrahim Place 990, Rama IV Road, Silom, Bangrak, Bangkok 10500, Thailand
Phone: (66)2-636-1886　Fax: (66)2-636-1891

**YANGON**
JFE Steel (Thailand) Ltd., Yangon Office
Unit 05-01, Union Business Center, Nat Mauk Road, Bocho Quarter, Bahan Tsp, Yangon, 11201, Myanmar
Phone: (95)1-860-3352

**SINGAPORE**
JFE Steel Asia Pte. Ltd.
16 Raffles Quay, No.15-03, Hong Leong Building, 048581, Singapore
Phone: (65)6220-1174　Fax: (65)6224-8357

**JAKARTA**
PT. JFE STEEL INDONESIA
6th Floor Summitmas II, JL Jendral Sudirman Kav. 61-62, Jakarta 12190, Indonesia
Phone: (62)21-522-6405　Fax: (62)21-522-6408

**NEW DELHI**
JFE Steel India Private Limited
806, 8th Floor, Tower-B, Unitech Signature Towers, South City-I, NH-8, Gurgaon-122001, Haryana, India
Phone: (91)124-426-4981　Fax: (91)124-426-4982

**MUMBAI**
JFE Steel India Private Limited, Mumbai Office
603-604, A Wing, 215 Atrium Building, Andheri-Kurla Road, Andheri (East), Mumbai-400093, Maharashtra, India
Phone: (91)22-3076-2760　Fax: (91)22-3076-2764

**BRISBANE**
JFE Steel Australia Resources Pty Ltd.
Level28, 12 Creek Street, Brisbane QLD 4000 Australia
Phone: (61)7-3229-3855　Fax: (61)7-3229-4377

### ■ MIDDLE EAST

**DUBAI**
JFE Steel Corporation, Dubai Office
P.O.Box 261791 LOB19-1208, Jebel Ali Free Zone Dubai, U.A.E.
Phone: (971)4-884-1833　Fax: (971)4-884-1472

### ■ NORTH, CENTRAL and SOUTH AMERICA

**HOUSTON**
JFE Steel America, Inc.
750 Town & Country Blvd., Suite 705, Houston, TX 77024, U.S.A.
Phone: (1)713-532-0052　Fax: (1)713-532-0062

**MEXICO CITY**
JFE Steel de Mexico S.A. de C.V.
Ruben Dario #281-1002, Col. Bosque de Chapultepec, C.P. 11580, CDMX. D.F. Mexico
Phone: (52)55-5985-0097

**RIO DE JANEIRO**
JFE Steel do Brasil LTDA
Praia de Botafogo, 228 Setor B, Salas 508 & 509, Botafogo, CEP 22250-040, Rio de Janeiro-RJ, Brazil
Phone: (55)21-2553-1132　Fax: (55)21-2553-3430


**Notice**

While every effort has been made to ensure the accuracy of the information contained within this publication, the use of the information is at the reader's risk and no warranty is implied or expressed by JFE Steel Corporation with respect to the use of information contained herein. The information in this publication is subject to change or modification without notice. Please contact the JFE Steel office for the latest information.

Copyright © JFE Steel Corporation. All Rights Reserved.
Any reproduction, modification, translation, distribution, transmission, uploading of the contents of the document, in whole or in part, is strictly prohibited.

2208R(1303) UM